



内モンゴル自治区について

中国の北部に位置する内モンゴル自治区は総人口が2,396万人で、土地の総面積は118.3万km²です。東西に長い形をしており、最東端の額爾古納（アルグン）市と最西端の額濟納（エジナ）旗では、日の出入りの時間に約2時間の差があります。石炭や牛肉、羊肉、牛乳、カシミアなどの資源・加工品を中国国内で最も多く生産しているほか、近年は風力や太陽光など新エネルギーを活用した発電を推進しています。

内モンゴル自治区は広大な草原、森林、大きな湿地、湖に恵まれており、万里の長城と黄河も内モンゴル自治区内を通過しています。区内には阿爾山（アラシャン）、克什克騰（ケシケトン）世界地質公園、巴丹吉林（バダイインジェリン）砂漠などの雄大な自然風景を有するほか、陰山岩刻画、紅山文化遺跡、遼上京遺跡など多くの歴史的遺構も遺されています。区都のフフホト市は自治区の政治、経済、文化、科学教育、金融の中心地で、全国の重要な乳業生産地であることから「中国の乳都」とも呼ばれています。フフホト市の総面積は1.72万km²で、人口は約360.41万人です。



世界の地域から 内モンゴル自治区（中国）



内モンゴル自治区額濟納（エジナ）胡楊林について

内モンゴル自治区額濟納（エジナ）胡楊（こよう）林は、内モンゴル自治区の最西端に位置するアラシャ盟額濟納旗にあり、国家自然保護区に認定されている世界三大胡楊林の一つです。胡楊はヤナギ科の植物として知られる珍しい植物で、「生きている化石の木」「英雄の木」とも呼ばれています。胡楊の木には「生きて千年枯れず、枯れても千年倒れず、倒れても千年腐らない」といった「3つの千年」の伝説があります。

黒河の両岸に広がる45万ムー^(※)の天然の胡楊林は、中国国内において最も美しい状態で保存されており、世界の胡楊林の中で最も素晴らしい観賞地とも言われています。春には緑の若芽が芽生え、夏には葉が青々と茂り、秋は紅葉が黄金色に美しく輝き、冬は雪に包まれるなど、胡楊林は四季折々のさびやかな姿を見せてくれます。

※1ムーは約666.67m²